

日南市埋蔵文化財調査報告書 第8集

平成9年度

日南市内遺跡発掘調査概報

1998. 3

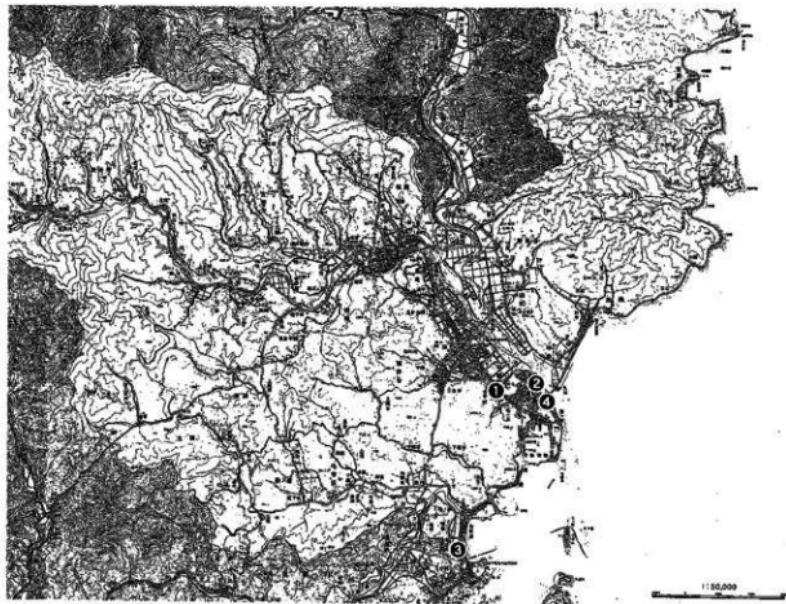
日南市教育委員会

日南市埋蔵文化財調査報告書 第8集

平成9年度

日南市内遺跡発掘調査概報

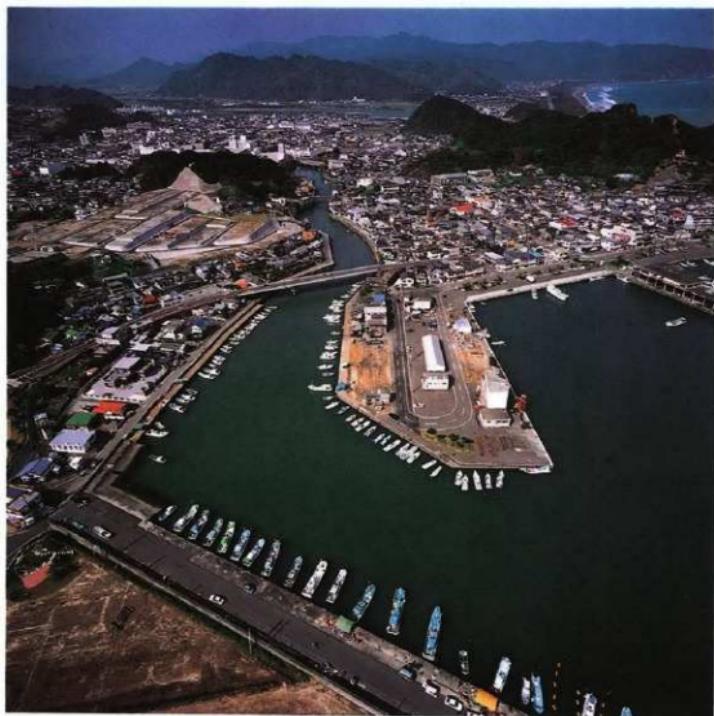
1. デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地
2. 日南市消防署油津出張所新築工事予定地
3. 国民健康保険中部病院改築工事予定地
4. 日南市立油津中学校校舎改築工事予定地



1998.3

日南市教育委員会

日南市全 景



油津港上空より日南市域を望む【(株)スカイ・サーバイ森氏撮影】

序

この報告書には、日南市教育委員会において平成9年度に実施した埋蔵文化財の有無を確認するための発掘調査の概要を記載しております。

日南市内においては、ここ数年間毎年平均5～6件の開発行為に伴う確認調査を行ってきました。開発の傾向としては、公共機関に関するものはもちろん、電気や道路、病院に関するものや他地域よりは、遅れて始まった大手3社による携帯電話の無線基地局の整備に関する開発などが目立っています。

こういった状況のもと、平成9年度には、デジタルツーカー九州の携帯電話基地局の建設をはじめとして、合計4ヶ所の試掘調査を実施することができました。

本市教育委員会では、埋蔵文化財保護の立場から、各種開発行為に先立ち試掘調査を実施することができたことは、非常に有意義なことだと思われます。また、今後市内で行われるであろう多くの開発行為に伴う未確認の埋蔵文化財についても、開発側等との充分な情報交換や協議などをすすめ、その保護に資するよう努力を重ねてまいりたいと思います。

最後になりましたが、調査を実施するにあたり、埋蔵文化財の保護に格別のご配慮とご理解を賜りました各開発関係者各位並びに地元の方々に厚くお礼を申し上げます。また、ご多忙の中、ご指導・ご助言を賜りました宮崎県教育庁文化課を初め、県埋蔵文化財センターの方々にお礼を申し上げますとともに現地調査にご協力いただいた作業員の方々にも重ねてお礼を申し上げます。

平成10年3月

日南市教育長 野邊行俊

例　　言

1. 本書は、平成9年度に日南市教育委員会が各種開発行為に先立ち実施した埋蔵文化財確認のための発掘調査の概要である。

2. 掲載した調査地は、日南市園田2丁目182-1の日南市消防署油津出張所の新築工事予定地、日南市大字平野字田ノ上7686番地のデジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地、日南市大堂津5丁目10-1の国民健康保険中部病院の改築工事予定地、日南市梅ヶ浜2丁目2-1の日南市立油津中学校校舎改築工事予定地の4ヶ所である。

3. 調査主体　日南市教育委員会

教　育　長	野邊 行俊
社会教育課長	藤本 統雄
文化係長	岡本 武憲
庶務担当	教育総務課主事 平原千鶴子
調査担当	主　　事 的場 丈明
調査作業員	鎌田留次郎、鎌田和枝、黒木正男、黒木カヨ、田畠フミ子、前田マサ子、福田スエ、大田原俊太郎、谷口キヨ子、須志田修 他
整理作業員	貴島芳栄、谷口キヨ子、出口美智子、谷山英子 他

4. 現地調査は、的場が行った。

5. 実測及びトレースは、的場、谷口が行った。

6. 本書の編集執筆は、的場が行った。

7. 各トレンチについての方位は磁北、レベルは、海拔高にて示した。

本文目次

卷頭カラー	日南市全景（油津港上空より日南市域を望む）
1. デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地	
位置と環境	2
調査に至る経緯	2
調査の結果	2
2. 日南市消防署油津出張所新築工事予定地	
位置と環境	6
調査に至る経緯	6
調査の結果	6
3. 国民健康保険中部病院改築工事予定地	
位置と環境	10
調査に至る経緯	10
調査の結果	10
4. 日南市立油津中学校校舎改築工事予定地	
位置と環境	14
調査に至る経緯	14
調査の結果	14

挿図目次

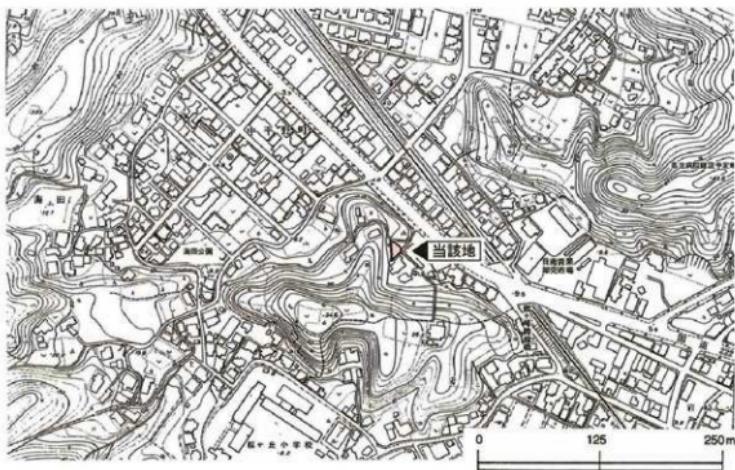
第1図 デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地 位置図	1
第2図 デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地 トレンチ位置図	1
第3図 デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地 土層断面図	2
第4図 日南市消防署油津出張所新築工事予定地 位置図	5
第5図 日南市消防署油津出張所新築工事予定地 トレンチ位置図	5
第6図 日南市消防署油津出張所新築工事予定地 土層断面図	6
第7図 国民健康保険中部病院改築工事予定地 位置図	9
第8図 国民健康保険中部病院改築工事予定地 トレンチ位置図	9
第9図 国民健康保険中部病院改築工事予定地 土層断面図	10
第10図 日南市立油津中学校校舎改築工事予定地 位置図	13
第11図 日南市立油津中学校校舎改築工事予定地 トレンチ位置図	13
第12図 日南市立油津中学校校舎改築工事予定地 土層断面図	14

図版目次

図版1 デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地 調査区全景	3
図版2 デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地 トレンチNO. 1 土層断面	3
図版3 デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地 トレンチNO. 2 作業風景	4
図版4 デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地 トレンチNO. 2 土層断面	4
図版5 日南市消防署油津出張所新築工事予定地 トレンチNO. 1 作業風景	7
図版6 日南市消防署油津出張所新築工事予定地 トレンチNO. 1 土層断面	8
図版7 国民健康保険中部病院改築工事予定地 トレンチNO. 1 作業風景	11
図版8 国民健康保険中部病院改築工事予定地 トレンチNO. 1 土層断面	11
図版9 国民健康保険中部病院改築工事予定地 トレンチNO. 2 作業風景	12
図版10 国民健康保険中部病院改築工事予定地 トレンチNO. 2 土層断面	12
図版11 日南市立油津中学校校舎改築工事予定地 トレンチNO. 1 作業風景	15
図版12 日南市立油津中学校校舎改築工事予定地 トレンチNO. 1 土層断面	15

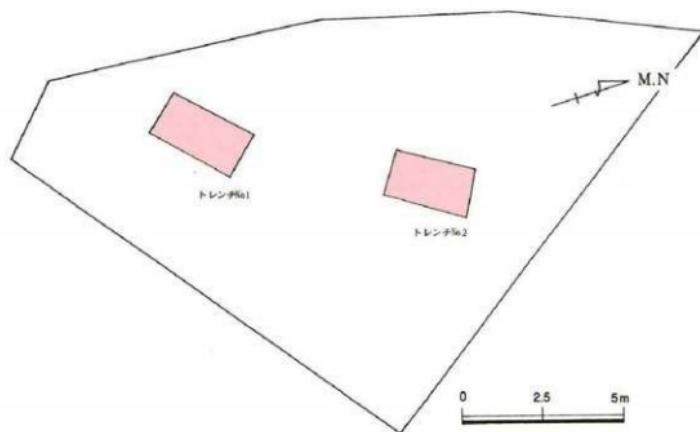
デジタルツーカー九州
携帯電話無線基地局建設予定地

デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地位置図



第 1 図

デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地トレンチ位置図



第 2 図

〔位置と環境〕

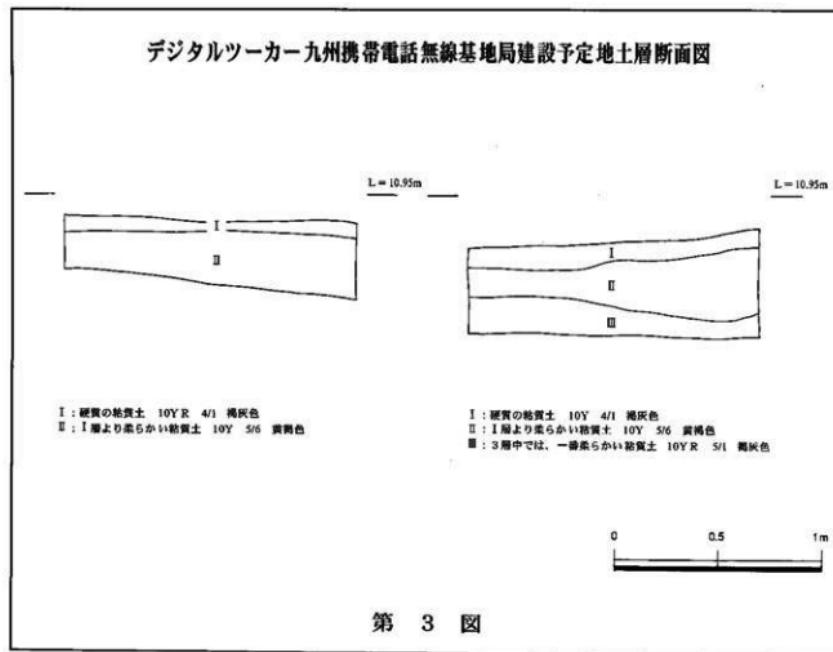
デジタルツーカー九州携帯電話無線基地局建設予定地は、日南市大字平野字田ノ上7686番地の国道222号線に沿った小高い丘陵の東麓にわずかに広がった平地で、標高約11メートルに位置する。予定地から北東へ約250mの所には、平成7年度に調査を実施した「影平遺跡」が存在した。現在は、消滅している。予定地は、調査前は更地となっていたが、以前は宅地として利用され人家が建っていたようである。

〔調査に至る経緯〕

今回の調査は、携帯電話無線基地局建設に伴う埋蔵文化財の有無を確認するための調査である。調査対象地は、以前は宅地として利用されていたようであるが、現在は更地であった。その当時の様子を知る人の話では、住宅建設の際に、丘陵となっていた部分を住宅建築のために削平して平らにした上で、元々の地形からは、かなり変化しているようである。調査では、対象地内に1.5メートル*3.0メートルのトレンチを2ヶ所設定し、遺構・遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

今回の調査の結果、遺構・遺物とも確認されなかった。



第 3 図

調査区全景



図版 1

トレンチNO. 1 土層断面



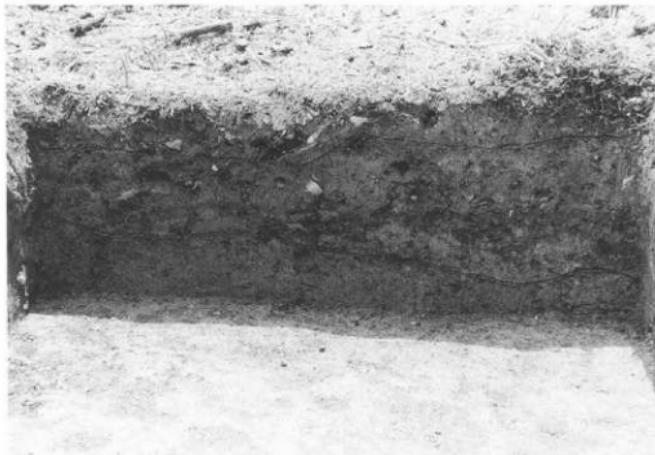
図版 2

トレンチNO. 2 作業風景



図版 3

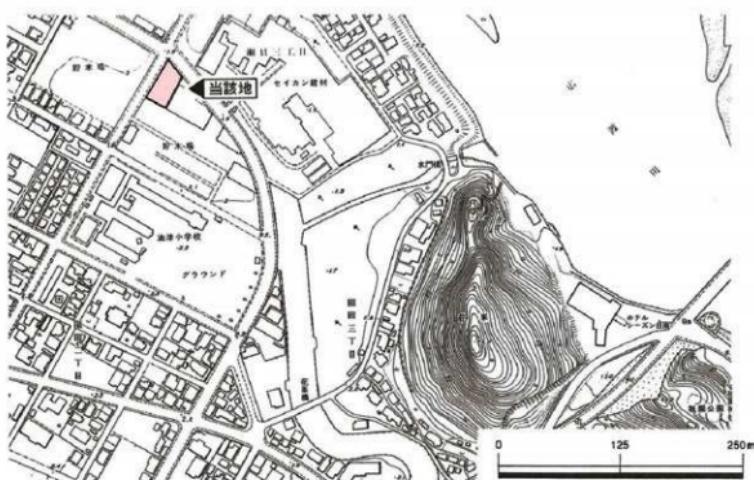
トレンチNO. 2 土層断面



図版 4

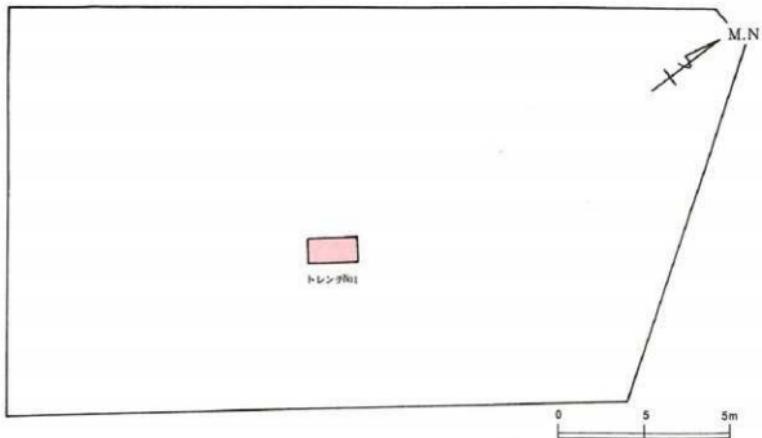
日南市消防署油津出張所
新築工事予定地

日南市消防署油津出張所新築工事予定地位置図



第 4 図

日南市消防署油津出張所新築工事予定地トレンチ位置図



第 5 図

〔位置と環境〕

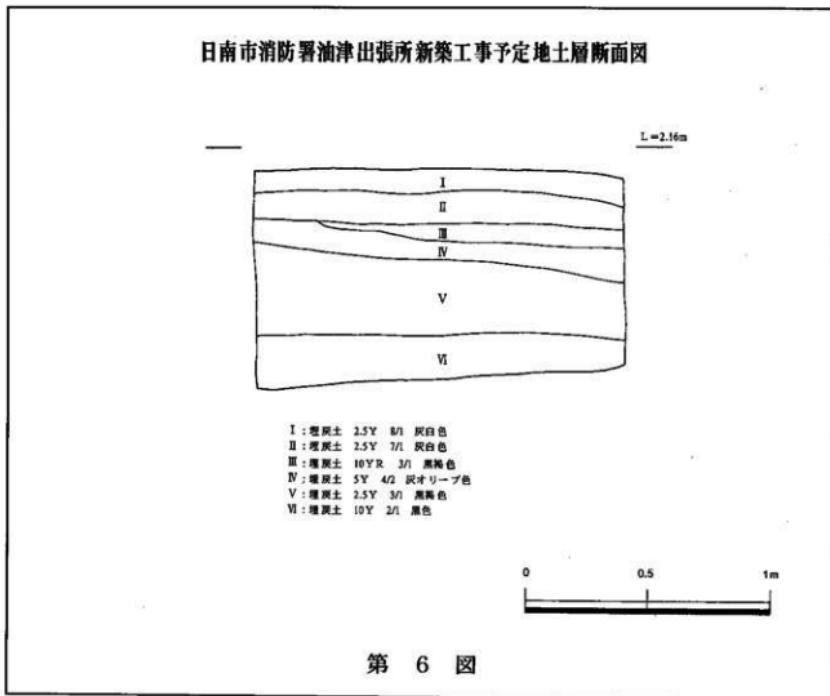
日南市消防署油津出張所は、国の堀川運河整備事業に伴い移転新築されることになった。工事の予定地は、日南市園田2丁目182-1で、現在は、製材所や貯木場などが立地する場所のほぼ中央部分となる。すぐ南東には、堀川運河が迫っており最盛期には、筏により運ばれてきた糞肥料がこの貯木場に一旦集められ、一部は、加工されたりして船荷の時まで貯木されていた。そのすぐ東側には太平洋に注ぐ広瀬川が流れる。

〔調査に至る経緯〕

今回の調査は、日南市消防署油津出張所の移転新築に伴う埋蔵文化財の有無を確認するための調査である。調査対象地は、以前は水田としても利用されていたようであるが、現在は更地となっていた。調査では、対象地内に、1.5メートル×3.0メートルのトレーナーを2ヶ所設定し、遺構・遺物の検出に努めた。

〔調査の結果〕

今回の調査の結果、遺構、遺物とも確認されなかった。



トレーナーNO. 1 作業風景



図版 5

トレンチNO. 1 土層断面

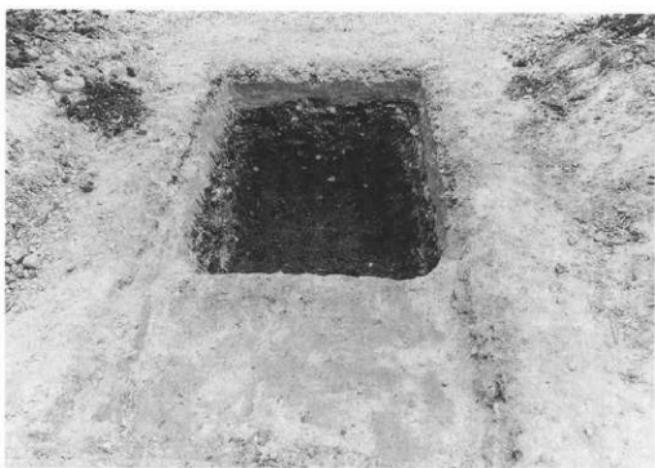
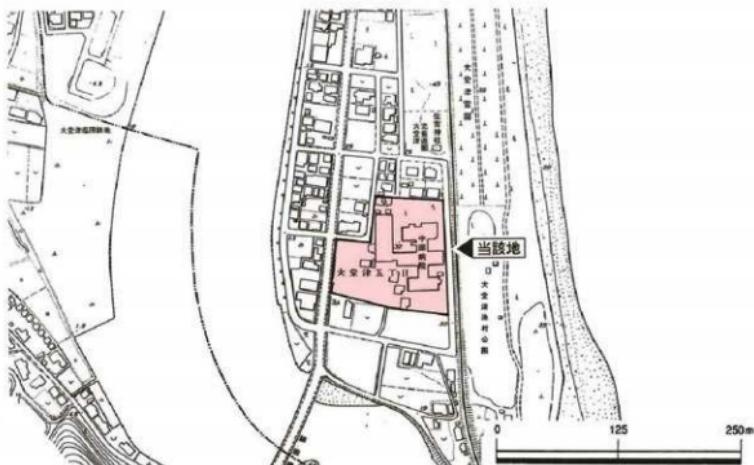


図 版 6

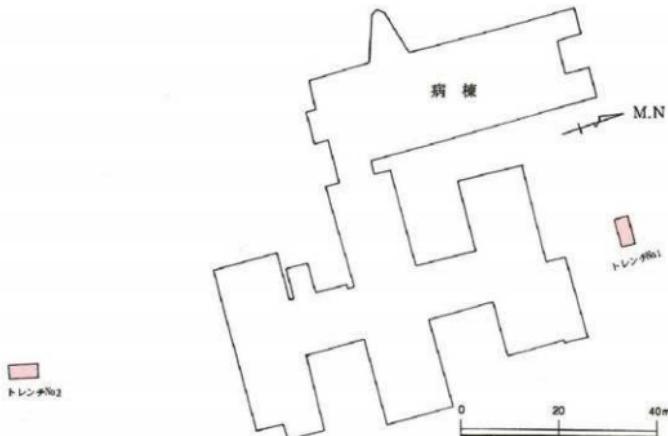
国民健康保険中部病院
改築工事予定地

国民健康保険中部病院改築工事予定地位置図



第 7 図

国民健康保険中部病院改築工事予定地トレンチ位置図



第 8 図

[位置と環境]

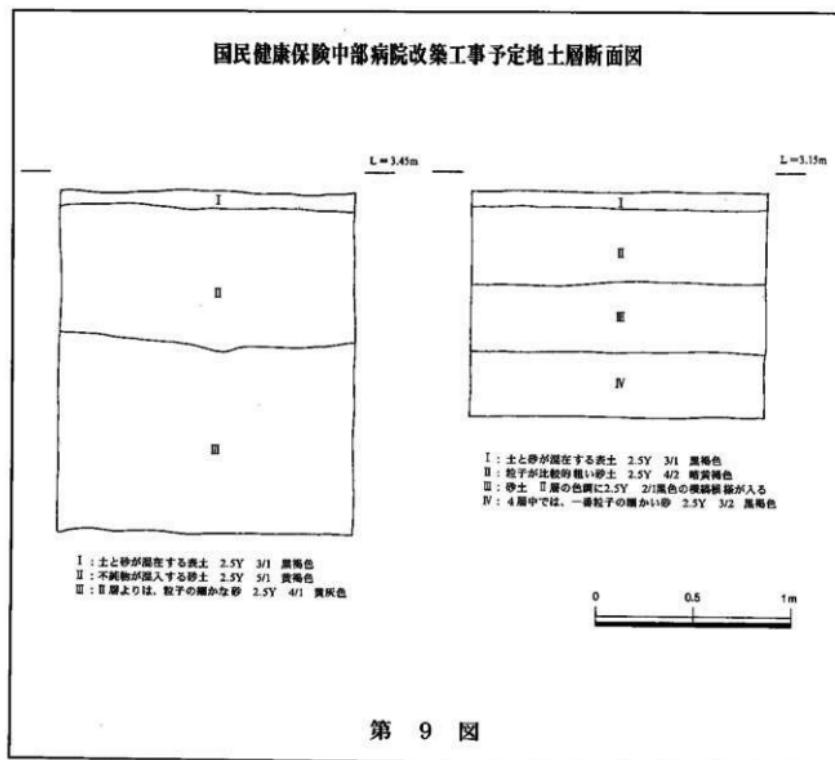
国民健康保険中部病院改築工事予定地は、南郷町との境界に近い日南市大堂津 5 丁目 10-1 に存在する。中部病院は、昭和 26 年当時南那珂中部地区では、無医地区で医療に恵まれなかつた住民の悲願により、旧細田町と南郷町が組織し開設された。昭和 38 年度に近代的診療施設へ改築、その後昭和 46、47 年度には、病棟の改築などを行ってきた。しかし、建物本体の老朽化と近代診療設備の導入スペースの不足などから今回の大幅な改築工事となった。中部病院は、その東側に国有保安林である松林を挟んで太平洋を望むことができる。海岸までは、約 100 メートルほどの距離で、現在の病院は、砂地の上に建設されている状況である。

[調査に至る経緯]

今回の調査は、国民健康保険中部病院改築工事に伴う埋蔵文化財の有無を確認するための調査である。調査対象地は、現在本館及び病棟の立地している場所を含む周辺敷地内となつたので、病院業務に支障をきたさない範囲で、対象地内に 1.5 メートル * 3.0 メートルのトレンチを 2ヶ所設定し、遺構・遺物の検出に努めた。

[調査の結果]

今回の調査の結果、遺構、遺物とも確認されなかった。



トレンチNO. 1 作業風景



図版 7

トレンチNO. 1 土層断面



図版 8

トレンチNO. 2 作業風景



図版 9

トレンチNO. 2 土層断面



図版 10

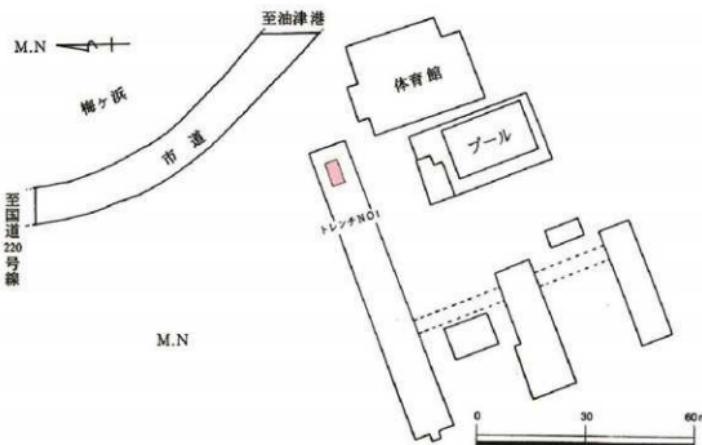
日南市立油津中学校
校舎改築工事予定地

日南市立油津中学校校舎改築工事予定地位置図



第 10 図

日南市立油津中学校校舎改築工事予定地トレンチ位置図



第 11 図

[位置と環境]

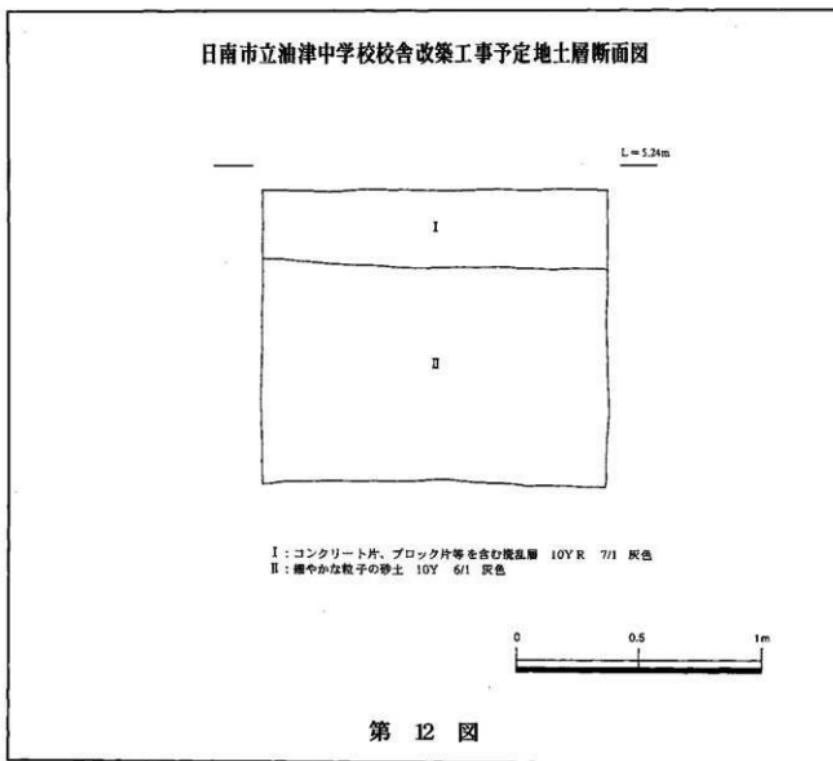
日南市立油津中学校校舎改築工事は、施設の老朽化に伴い行われるもので、現在立地している校舎を取り崩してほぼ同じ場所に新築するものである。日南市立油津中学校は、日南市梅ヶ浜2丁目2-1に立地する。今回改築が行われるのは、東西に3棟並ぶ校舎の内一番北側に位置する主となる校舎である。この校舎からは、市道を挟んで梅ヶ浜を望む。この梅ヶ浜ではここ数年は確認されていないが、アカウミガメが産卵のために上陸する砂浜もある。また、平部崎南の「日向地誌」によれば梅ヶ浜の東の丘に栄興寺跡の記述があり、もし油津中学校の東にある丘がそれにあたるとすれば、寺院に関する建築物の存在も考えられる場所となる。

[調査に至る経緯]

今回の調査は、日南市立油津中学校校舎改築工事に伴う埋蔵文化財の有無を確認するための調査である。調査対象地は、既存の校舎が位置する場所で校舎新築時に地下へかなり、影響をおよぼしているものと推察された。地表面から約2メートルの深さのところまでは、基礎を打つために既に大半が擾乱を受けている。従って、約2メートルの位置で一旦遺構の検出を試みたが検出されなかった。更に擾乱を受けていないと思われるその下部の層について、更に1.5メートル程掘り下げて遺構、遺物の検出に努めた。

[調査の結果]

今回の調査の結果、遺構、遺物とも確認されなかった。



トレンチNO. 1 作業風景



図 版 11

トレンチNO. 1 土層断面

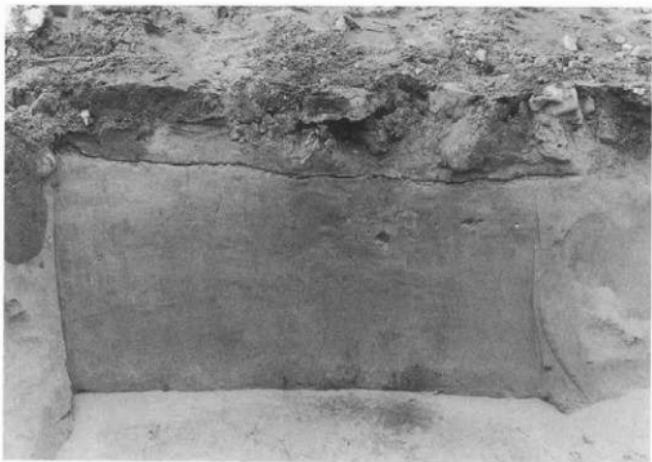


図 版 12

調査にご協力いただいた作業員のみなさん



(中部病院にて)

黒木正男 鎌田和枝 大田原俊太郎 須志田修
鎌田留次郎 前田マサ子 福田スエ 黒木カヨ 田畠フミ子

整理作業にご協力いただいた方々



(伊東記念館にて)

貴島芳栄

谷口キヨ子

日南市埋蔵文化財調査報告書 第8集

平成9年度 日南市内遺跡発掘調査概報

1998年3月

編集発行 日南市教育委員会
〒887-8585 日南市中央通1丁目1番地1
電話 0987-31-1145

印 刷 (株)田中写真印刷
〒887-0031 日南市大字戸高441-1
電話 0987-22-5328

